

キリストの弟子となる（１）：大宣教命令

「あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子とせよ。」（マタイ 28 : 19）

1. 弟子とはどのような人か

① 互いに愛すること

「わたしはあなたがたに新しい戒めを与えます。互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。35 互いの間に愛があるなら、それによって、あなたがたがわたしの弟子であることを、すべての人が認めるようになります。」（ヨハネ 13 : 34～35）

② イエスの言葉に留まること

「イエスは、ご自分を信じたユダヤ人たちに言われた。『あなたがたは、わたしのことばにとどまるなら、本当にわたしの弟子です。 32 あなたがたは真理を知り、真理はあなたがたを自由にします。』」（ヨハネ 8 : 31～32）

2. 大宣教命令

① あらゆる国の人々を弟子とせよ：

「イエスは近づいて来て、彼らにこう言われた。『わたしには天においても地においても、すべての権威が与えられています。19 ですから、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子とせよ。父、子、聖霊の名において彼らにバプテスマを授け、20 わたしがあなたがたに命じておいた、すべてのことを守るように教えなさい。見よ。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいます。』」（マタイ 28 : 18～21）

- ・ 大宣教命令は、イエスの権威に基づく
- ・ 弟子たちへの命令（１）：救われた人々を「弟子」とする
- ・ 弟子たちへの命令（２）：父・子・聖霊の名によってバプテスマを授ける
- ・ 弟子たちへの命令（３）：イエスの全ての命令を守るよう教える

② 福音を宣べ伝え、悪霊を追い出し、病を癒しなさい

「それから、イエスは彼らに言われた。『全世界に出て行き、すべての造られた者に福音を宣べ伝えなさい。16 信じてバプテスマを受ける者は救われます。しかし、信じない者は罪に定められます。17 信じる人々には次のようなしるしが伴います。すなわち、わたしの名によって悪霊を追い出し、新しいことばで語り、18 その手で蛇をつかみ、たとえ毒を飲んでも決して害を受けず、病人に手を置けば癒やされます。』」（マルコ 16 : 15～18）

- ・ マタイ 28 と等しく重要な大宣教命令であり、欠けてはならない
- ・ 弟子の重要な役割である福音伝道に焦点を合わせている。
- ・ 全ての人々に福音を宣べ伝える。
- ・ 信じる者だけが救われる（救いの唯一性）
- ・ 信じる者に伴うしるし：悪霊追い出しと異言と病気の癒し

3. 福音を宣べ伝える

① 福音の内容

- ・ 福音の中心は十字架・埋葬・復活：

「私があなたがたに最も大切なこととして伝えたのは、・・次のことです。キリストは、聖書に書いてあるとおりに、私たちの罪のために死なれたこと、4 また、葬られたこと、また、聖書に書いてあるとおりに、三日目によみがえられたこと」（第一コリント 15：3~4）
- ・ 本質的にはキリスト・神のことばについて伝えること

「散らされた人たちは、みことばの福音を伝えながら巡り歩いた。ピリポはサマリアの町に下って行き、人々にキリストを宣べ伝えた。」（使徒 8：4~5）

② 福音は全人類のためのもの

- ・ 「神はそのような無知の時代を見過ごしておられましたが、今はどこでも、すべての人に悔い改めを命じておられます。」（使徒 17：30）
- ・ 「主は、ある人たちが遅れていると思っているように、約束したことを遅らせているのではなく、あなたがたに対して忍耐しておられるのです。だれも滅びることがなく、すべての人が悔い改めに進むことを望んでおられるのです。」（Ⅱペテロ 3：9）

③ 福音の伝え方

- ・ 自分の体験を証しする（主がどんな恵みを与えてくれたのか）

「しかし、イエスはお許しにならず、彼にこう言われた。「あなたの家、あなたの家族のところに帰りなさい。そして、主があなたに、どんなに大きなことをしてくださったか、どんなにあわれんでくださったかを知らせなさい。」 20 それで彼は立ち去り、イエスが自分にどれほど大きなことをしてくださったかを、デカポリス地方で言い広め始めた。人々はみな驚いた。」（マルコ 5：19~20）

*誰もが、自分のオリジナルの証を持っている

*ちゃんと喜びを持って話す

- ・ イエス、神のことばとその実在について語る
*使徒 17:22~31 を読む
- ・ しるしを用いて証しする
「弟子たちは出て行って、いたるところで福音を宣べ伝えた。主は彼らとともに働き、みことばを、それに伴うしるしをもって、確かなものとされた。」(マルコ 16 : 20)
*福音書〜使徒の働きでのリバイバルの多くはしるしによって起こっている
- ・ 本やトラクトなどを渡して読んでもらう

4. 悪霊を追い出し、病を癒す

① 悪魔と病への権威は、福音伝道とセットで切り離せない

- ・ 「イエスは、十二人を呼び集めて、彼らに、すべての悪霊を追い出し、病気を直すための、力と権威とをお授けになった。」(ルカ 9 : 1)
- ・ 「その後、主は、別に七十人を定め、ご自分が行くつもりすべての町や村へ、ふたりずつ先にお遣わしになった。・・9 そして、その町の病人を直し、彼らに、『神の国が、あなたがたに近づいた』と言いなさい。・・19 確かに、わたしは、あなたがたに、蛇やさそりを踏みつけ、敵のあらゆる力に打ち勝つ権威を授けたのです。だから、あなたがたに害を加えるものは何一つありません。」(ルカ 10 : 1~20)
- ・ 「信じる人々には次のようなしるしが伴います。すなわち、わたしの名によって悪霊を追い出し、新しいことばで語り、18 その手で蛇をつかみ、たとえ毒を飲んでも決して害を受けず、病人に手を置けば癒やされます。」(マルコ 16 : 17~18)
*これらの権威無しに弟子たちが遣わされたことは一度も無い

② 解放・癒しの方法：お願いではなく、「命じる」

- ・ 悪霊の追い出し：
「何日もこんなことをするので、困り果てたパウロは、振り向いてその霊に、「イエス・キリストの名によっておまえに命じる。この女から出て行け」と言った。すると、ただちに霊は出て行った。」(使徒 16 : 18)
- ・ 病の癒し：
「すると、ペテロは言った。『金銀は私にはない。しかし、私にあるものをあげよう。ナザレのイエス・キリストの名によって立ち上がり、歩きなさい。』 7そして彼の右手を取って立たせた。するとたちまち、彼の足とくるぶしが強くなり、 8 躍り上がって立ち、歩き出した。そして、歩いたり飛び跳ねたりしながら、神を賛美しつつ二

人と一緒に宮に入って行った。」(使徒 3 : 6~8)

＊新約聖書中の癒しのほとんどは命じて行われている

- ・ 命じた方が癒されることを示す統計 :

JGLM のカーリー・ブレイク氏は、かつては癒しの成功率が 15~25%だったのが、ジョン G レイク氏のマニュアルを手に入れ、お願いではなく命じる癒しに変えてからは、成功率が格段に上がった、と証言している。

「まず最初に私は祈り方を変えました。お願いすることから、命令することに変えました。それによって瞬く間に癒しの成功率が上がりました。」(Devine Healing Technicians training - Session1)

- ・ 手を置く

「たまたまブブリウスの父が、発熱と下痢で苦しんで床に横たっていた。パウロはその人のところに行って、彼に手を置いて祈り、癒やした。」(使徒 28 : 8)

③ 実践へのアドバイス

- ・ 最重要な鍵は「信仰」。信仰によって、積極的に機会を捉える。

＊身の回りで病人を探し、積極的に祈らせてもらう

＊アウトリーチに参加する

- ・ 現場への備え

＊命じる際のセリフを家で練習しておく

＊もったいぶらず、スムーズに祈りを始める

＊その場で効果を確認する

- ・ その場で癒しが起きなくても諦めない

＊代表的な理由は不信仰。その他、継続的な祈りが必要等。